

スポーツ基本計画へのご提案

公益財団法人 日本レクリエーション協会

平成23年10月7日

レクリエーションとは？

- 国民一人ひとりの元気づくりである
- 楽しさ、交流、健やかさ、互いの認め合いのある多様な活動
- 高齢者の健康づくり、子どもの健全な発達・体力づくり、人と人のきずなづくりや心の健康、地域コミュニティの再生などに大きな効果をもたらす

<参考>

- Recreation 元気回復、気晴らし『プログレッシブ英和中辞典』
- レクリエーション 仕事や勉強などの疲れを休養や娯楽によって精神的、肉体的に回復すること。『広辞苑』

国民一人ひとりの元気づくりが公益財団法人日本レクリエーション協会の使命である

- うまい、へたは二の次
- 楽しくできているかが第一
- 仲間との交流がある
- 互いを認め合えている
- 健やかである

以上がレクリエーションの要件

今後は、運動が苦手な人も、楽しくスポーツに親しめるような施策が、さらに重要である

- レクリエーションが培ってきたソフトが役立つ
- 全国に約10万人にのぼるレクリエーション公認指導者も存在する
- 都道府県レクリエーション協会、市区町村レクリエーション協会、加盟種目団体及び都道府県・市区町村支部など組織も整っている

スポーツへの志向・段階に応じて 求められるスポーツの3種の指導者

- スポーツを好きにする入り口づくりを行う指導者(レクリエーション公認指導者の役割)
- 専門性を追求したい志向に答える指導者
- トップアスリート養成を行うコーチ

提案1 スポーツが好きになる支援を展開できるレクリエーション公認指導者の活用を

- 総合型クラブなど地域スポーツの活動現場に地域のスポーツをコーディネートする人材としてレクリエーション公認指導者の活用をお願いしたい
- あわせて、従来からのスポーツ指導者においても、楽しさと認め合いを生み出す本協会の持つ技能を研修する機会を提供して頂きたい

* 政策項目2 「地域のスポーツ環境の整備(3)スポーツ指導者の充実」、
政策項目3 「ライフステージ応じたスポーツ活動の推進」に対応

提案2 運動が苦手な人もスポーツに親しめるような体験の機会を身近な生活圏(小学校区)で実施を

- ・市区町村レクリエーション協会や総合型地域スポーツクラブなどが、本協会加盟種目団体を中心に多様なスポーツ・レクリエーション種目の体験行事を実施
- ・スポーツ実施率の向上につなげるとともにスポーツを通じたコミュニティの再生づくりへ発展させる

* 政策項目3 「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」に対応

提案3 小学校体育コーディネーターにレクリエーション公認指導者の活用を

- 運動が苦手な子どもが運動・スポーツの楽しさ、すばらしさに気づかせる指導が不可欠である
- その体験が生涯にわたってスポーツに親しむ基盤をつくる
- レクリエーション公認指導者は、上記を可能とするスキルを有している
- 小学校体育コーディネーターに楽しさづくりと運動が苦手な子を認めながら運動好きにするスキルを学ぶ研修の機会を設けていただきたい

* 政策項目1 「学校と地域における子どものスポーツ機会の充実」に対応

提案4 運動部活動にニュー・スポーツ種目の導入を

- 児童・生徒の元気をつくるためには、運動が苦手な子も楽しくスポーツに親しむ必要がある
- そこで、間口が広く、だれもが楽しめるとともに奥が深く、継続的な活動にもつながるニュー・スポーツ種目を運動部活動に導入したい
- 都道府県、市区町村レクリエーション協会や加盟種目団体及び地域支部の指導者が多様なニュー・スポーツ種目の指導に対応できる

* 政策項目1 「学校と地域におけるスポーツ機会の充実」に対応

提案5 子どもの体力向上に向けた事業の実施を

- 本会が文部科学省より委託を受けて実施しているおやこ元気アップ！事業は、保護者を対象として子ども体力向上の啓発事業として効果あげ、高い評価を得ている
- 運動の大切さを幼児期から伝える必要性は高まっており、既に本会事業においても、幼稚園、保育園等での開催を行っている
- そうした実績を踏まえ、引き続き子ども体力向上に向けた事業を実施すべきである

* 政策項目1 「学校と地域における子どものスポーツ機会の充実」に対応